

「夢の神通回廊」を目指して



サンアントニオ・リバーウォーク 川の街誕生物語 ⑦

完成することのない 夢の街の建設

神通川直線化100年記念、「川と街づくり国際フォーラム」開催から5年。「夢の神通回廊」プロジェクト実現に向け、アメリカ・サンアントニオ市のリバーウォークなどの公園管理者、リチャード・ハード氏の講演内容を連載する第7回！

遊歩道の石畳

大湾曲部の北側にある、歴史的リバーウォークの川の壁は、60年間、洪水と闘ってきました。1940年の建築技術は、手作業で泥底をしき、強度を高めるために、三角形に積まれた石灰岩を、



モルタルで固める、というものでした。しかし、引き続き洪水による被害が繰り返されました。決壊が何度も起こり、ついには、水路化計画が持ち上がりました。2000年に、1.6 kmをコンクリート基礎に変え、壁と歩道を修復する、プロジェクトが始まりました。

いつものように提案は議論を巻き起しました。設計は、あらゆる面で環境に対する影響、商業活動の中断、に照らし合わせて検討されました。



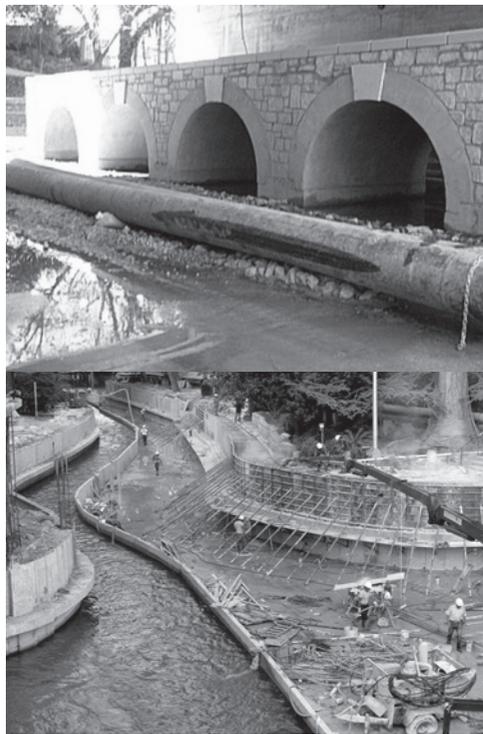
▶コンクリートの橋の内側には、タイルで装飾がほどこされた

2本のパイプ

建設中、川の水は60センチの2本のパイプで迂回され、これにより水は通常通り湾曲部を下流へと流れていきました。この川のパイプの中に水が通されて、迂回され

たわけです。そして、この下はコンクリートになっています。

水の迂回でコストは上がりましたけれども、来訪者は、中断することなく湾曲部を楽しむことができるようになりました。目につく違いは、普通は一方通行で一周するところを、4隻の船が両方向に



▲2000年に、1.6kmをコンクリート基礎に変え、壁と歩道を修復するプロジェクトが始まった



動いていることだけでした。このスライドですね。前のところに洪水があったところですから、このサンアントニオの流れが見えるところですよ。

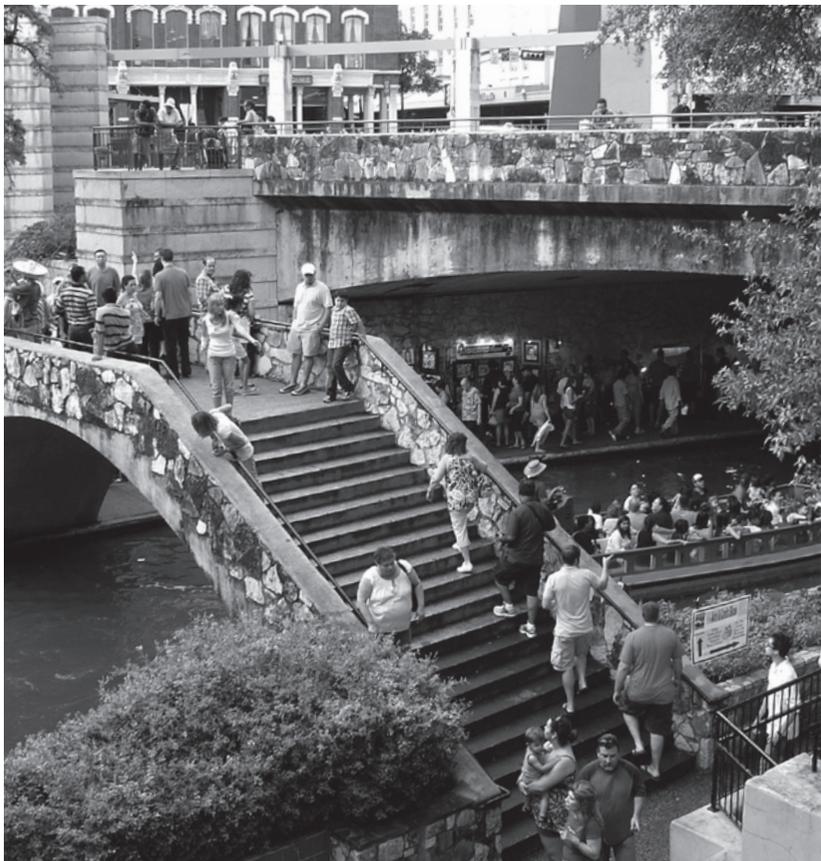
完成したプロジェクトには、以前駐車場だったミニ公園も含まれています。道路のレベルから川のレベルまで、壁が新しくなり、駐車場だったところに公園が作られています。新鮮な外観と構造は、次の世紀まで続いていくことでしよう。

混雑の解消

リバーウォークが直面する課題の一つは混雑です。狭い歩道を、ゆっくり歩いていることができないほど混むことが、時々あります。リバーウォークの商業的成功を、上の通りのレベルに移すことも大きな課題です。

観光客を上の通りの店や、レストランに呼び込むため、多くの通路が作られ、川岸から通りへと行きやすくなっています。

上の通りに出ますと、来訪者の足として、安くて便利なトロリーが走っています。





観光産業は医療に次いで大きい

テキサス州の州境でとった調査によると、リバーウォークと、アラモの砦が、最も人気のあるところになっています。

サンアントニオでは、観光産業は、健康・医療産業に次いで大きくなっています。97年の調査によると、来訪者による直接・間接経済効果は、4,700億円でした。最近では、来訪者から市に入る年間税収入は、推定で95億円になっています。この中には、市の売り上げ税、財産税、通行税が含まれています。最近の調査によると、来訪者が落とすお金によって、7,800以上の仕事をサポートされています。

経済やグローバルな懸念から、サンアントニオでも停滞が見られています。しかしながら、他の市と比較すれば、かなりうまくいっています。というのも、車で行ける地域市場に、宣伝の重点が置かれたからです。さつきも言いましたように、市には毎年700万人以上の人がやってきます。このことから、他の娯楽施設も建てられ、大きなものとしては、2つのテーマパークがあります。

「シーワールド」が1988年にオープンしました。これは、マリナーパークで、シャチャや、アシカや、ペンギンなどの実演が呼び物です。

「ファイエスタ・テキサス」は1992年にオープンし、多くのジェットコースターや、テキサスが舞台のお芝居が特色になっています。



スペシャルイベント

スペシャルイベントです。川はよく特別なイベントが催される所で、最初のリバーパレードは、1901年に開催されました。今日、1年に2つ大きなリバーパレードが行なわれます。クリスマスシーズンと、4月のフィエスタシーズンに行なわれます。

最近ですが、市のプロバスケットボールチームの「スパーズ」が、6月にワールドチャンピオンシップをとった時、その勝利を記念してリバーパレードが行なわれました。多分、10万人以上の人がやってきたはずで。

以前、12月は来訪者が比較的不い時期でしたが、1975年から、今では恒例になっている、

見に来ます。

これは「フィエスタ・チルドレンズ・フェスティバル」と言って、フィエスタ中には、子供たちのために計画された行事がたくさんあります。



次は「フィエスタ・マリアッチ・フェスティバル」です。マリアッチは、伝統的なメキシコ人の合唱



木の照明が始まりました。今では、12万5000ものライトが、この1カ月のイベントのために付けられます。

週末には紙の砂袋に入れたろうそくに火が灯されます。

木々にライトを付けるのは容易ではなく、このイベントのために、最高6週間もかけて、木の上ののぼってライトを付ける、そういう

隊です。このイベントの間には、マリアッチバンドが船に乗ってクルーズしていき、時々とまって歌を歌います。

カヌーチャレンジ、このボーイスカウトのカヌーがリバーウォークでレースを行ないます。著名人がレースに招かれます。

「パチャンガ・デル・リオ」パチャンガの時は、3,000円のチケットで参加しているレストランの料理を試食することができます。遊覧船を利用することも、歩くこともできます。

「ホリデー・リバー・パレード」と点灯式。これは、クリスマスシーズン到来を祝います。パレードが始まる前に、125本の木の電球が点灯されます。

「ホリデー・ボート・キャロリング」。水上で合唱隊がクリスマスソングを歌います。

作業をやっています。アートショーも、人気のある週末のイベントです。

恒例のリバーウォークのイベントを紹介します。

リバーウォークでは、地元の人が先ほども言いましたが、排水をすため、泥のお祭りもやります。

これは宗教のお祭りですが、ニューオーリンズや、リオよりも、サンアントニオの場合は家族的なアプローチをとっています。

次は、川をグリーンに染めるパレードです。これは、セントパトリックデーを祝うパレードで、川をグリーンに染めます。数ブロックに渡り、川が明るいグリーンになってしまいます。

次は「フィエスタ・ナイト・パレード」で、非常に大きなもので、40以上の船を浮かべた一番大きなリバーパレードで、12万人の人が

